令和７年度

上田市議会活動報告

上田市議場

上田市議会

目　　次

1 上田市議会議員名簿 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ

2 市議会のしくみ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2･3 ページ

3 総務委員会活動報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～7 ページ

4 産業水道委員会活動報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 8･9 ページ

5 教育厚生委員会活動報告 ・・・・・・・・・・・・・・ 10･11 ページ

6 環境建設委員会活動報告 ・・・・・・・・・・・・・・ 12･13 ページ

7 広報広聴委員会活動報告 ・・・・・・・・・・・・・・ 14･15 ページ

8 議会運営委員会活動報告 ・・・・・・・・・・・・・・ 16･17 ページ

9 請願･陳情の審査、意見書･決議の提出状況・・・・・ 18ページ

上田市議会ホームページ

上田市議会 YouTube

上田市議会議員名簿

議席	氏名	ふりがな	役職	常任委員会			議運		会派	自治会
1										
2	泉　弥生	いずみ　やよい			総務			議運	日本共産党上田市議団	下組
3	村越　深典	むらこし　じんてん			総務	○ 広報広聴			壮志会	下之郷
4	中村　知義	なかむら　ともよし		○	環境建設	広報広聴			上志の風	中丸子
5	武田　紗知	たけだ　さち		○	産業水道	広報広聴			上志の風	下川原柳町
6	飯島　裕貴	いいじま　ゆうき			産業水道	広報広聴	○	議運	新生会	城北
7	古市　順子	ふるいち　じゅんこ			環境建設	広報広聴			日本共産党上田市議団	竹室
8	松尾　卓	まつお　たかし			総務			議運	公明党	下本入
9	金沢　広美	かなざわ　ひろみ			環境建設	◎ 広報広聴			公明党	岩清水
10	松山　賢太郎	まつやま　けんたろう			産業水道		◎	議運	壮志会	染屋
11	髙田　忍	たかだ　しのぶ			産業水道	広報広聴			壮志会	鳥屋
12	西沢　逸郎	にしざわ　いつろう			教育厚生			議運	壮志会	城北
13	矢島　昭徳	やじま　あきのり		○	総務			議運	上志の風	久保林
14	堀内　仁志	ほりうち　ひとし		○	教育厚生				上志の風	上田原
15	石合　祐太	いしあい　ゆうた		◎	総務	広報広聴			新生会	大久保
16	斉藤　達也	さいとう　たつや			総務				新生会	材木町
17	齊藤　加代美	さいとう　かよみ		◎	教育厚生	広報広聴			新生会	海戸
18	井澤　毅	いざわ　つよし		◎	環境建設			議運	新生会	越戸
19	久保田　由夫	くぼた　よしお	副議長		産業水道				日本共産党上田市議団	長瀬中央
20	池上　喜美子	いけがみ　きみこ			教育厚生				公明党	踏入
21	半田　大介	はんだ　だいすけ		◎	産業水道				公明党	保野
22										
23	宮下　省二	みやした　しょうじ			環境建設				壮志会	諏訪形
24	金井　清一	かない　せいいち			総務				上志の風	塩田新町
25	飯島　伴典	いいじま　とものり			教育厚生			議運	上志の風	木町
26	池田　総一郎	いけだ　そういちろう	議長						上志の風	上本郷
27	佐藤　論征	さとう　のりゆき			産業水道				新生会	真田
28	土屋　勝浩	つちや　かつひろ			教育厚生				新生会	長島
29	尾島　勝	おじま　まさる			環境建設				新生会	久保林
30										

◎は委員長、○は副委員長

市議会のしくみ

市議会は、市民の直接選挙により選ばれた議員で構成されます。

市民全体を代表する機関として、市の最終的な意思を決定するとともに、執行機関を監視するという大切な役割を持っています。

市長をはじめとする「執行機関」は、よりよい市政運営のためにいろいろな施策を立案し実行します。これに対し、市議会は「議決機関」と呼ばれ、市長の立案した事柄について意見を述べ、審査及び議決し、最終的な上田市の意思を決定します。

市長と議員が、教育や福祉あるいは産業振興といった市民生活に関係ある事項について真剣に検討を行う市議会は、市民の声を行政に反映させる場であるといえます。

市議会議員

市議会議員は、住民全体の代表である非常勤の特別職公務員です。

市政の各種課題の解決に向けて市民の声をくみとり、これを市政に反映させる一方、市政の動きや議会の活動について市民に知らせる使命を帯びています。

議長と副議長

議長と副議長は、議員の中から選挙されます。議長は、議会の代表者であり、会議を円滑に運営するほか、議会全体の事務を処理するなどの権限を持っています。

副議長は、議長が病気などで職務をとれない場合に代行します。

会　派

会派とは、同じような考えを持った議員の集まりで、議会活動において自分たちの考えを会派の意見としてより強く打ち出すことができます。

上田市議会は、国会と同様に会派制をとっており、3人以上の議員により会派を結成することができます。

本会議と委員会

議員全員が議場に集まって開く会議が本会議です。この本会議の議決がなければ、条例や予算などは法的な効力を生じません。

委員会は、市の事務を効率的かつ専門的に審査するため分野別に分担して議案などを審査し、本会議に報告します。委員会は、本会議の予備審査機関として重要な役割をもっています。

常任委員会

委員会名（定数）	所　管　事　項
総務委員会 （8 人）	秘書課、危機管理防災課、政策企画部、総務部、財政部、消防部、会計課、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会に関すること。他の委員会に属さないこと。
産業水道委員会 （7 人）	産業振興部、文化スポーツ観光部、農業委員会、上下水道局に関すること。
教育厚生委員会 （7 人）	福祉部、福祉事務所、健康こども未来部、教育委員会に関すること。
環境建設委員会 （8 人）	櫓復元推進室、市民まちづくり推進部、環境部、都市建設部に関すること。
広報広聴委員会 （9 人）	市民意見の集約、議会の活動内容を市民に提供すること及び市民意見の把握に関すること。

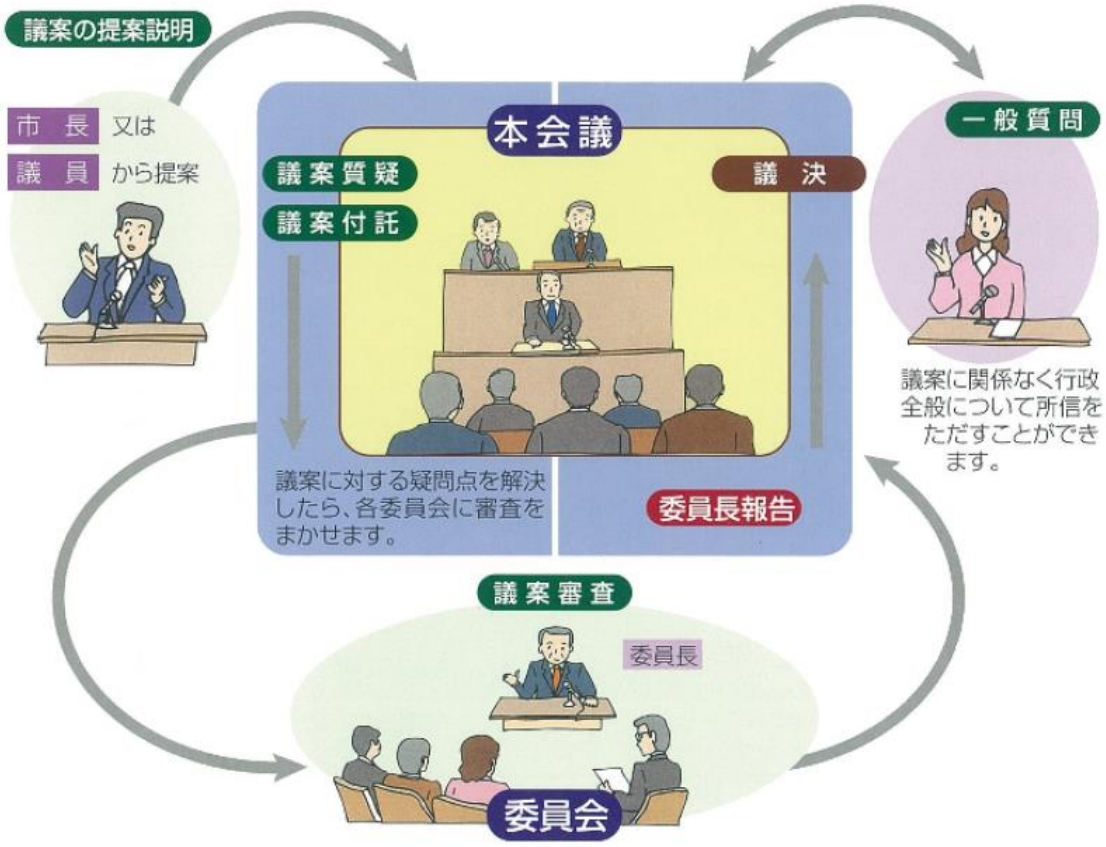
議会運営委員会

議会運営委員会 （8 人）	議会の運営、議会の会議規則・委員会に関する条例等及び議長の諮問に関すること。

特別委員会

	必要に応じて議会の議決により設置されます。議決された特別の事項についてのみ審査し、審査が終了した時点で消滅します。

議会のすすめ方



請願と陳情

市議会では、市民のみなさんの要望などを請願や陳情という形で受け付けています。

提出された請願や陳情は、内容を審査し、採択（とりあげる）か不採択（とりあげないか）かを決定します。紹介議員の必要な請願は、地方自治法に基づき議案と同様に本会議で議決します。陳情は、委員会審査にとどめますが、請願に準じた扱いをしています。

書式例

年　月　日

上田市議会議長
＿＿＿＿＿＿様
（議長名）

提出者　住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（署名または記名・押印）

紹介議員　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（署名または記名・押印）

○○○○○○○に関する請願

請願の趣旨

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　月　日

上田市議会議長
＿＿＿＿＿＿＿＿様
（議長名）

提出者　住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（署名または記名・押印）

○○○○○○○に関する陳情

陳情の趣旨

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

総務委員会からの報告

１　総務委員会の構成

松尾卓委員、斉藤達也委員、金井清一委員（欠席）
泉弥生委員、矢島昭徳副委員長、石合祐太委員長、村越深典委員

２　総務委員会の主な仕事

○　地方創生・ＤＸ推進、学園都市、政策研究、広報広聴などに関すること
○　人事、法規、情報システム、行財政改革などに関すること
○　予算（歳入）・財務、税金、入札・契約などに関すること
○　防災、消防団、予防対策、消防施設及び水利などに関すること

３　取り組んでいる主な活動

（１）持続可能な行財政運営に向けた公民連携の推進及び人材育成

人口減少や少子高齢化により財政の厳しさが増す中、限られた資源で持続可能な行政運営を実現するためには、公民連携の推進と計画的な人材育成が急務です。

このことから、総務委員会では今期委員任期の重点課題として上記項目を設定しました。

① 重点課題に対する取組

これまでに実施した視察を踏まえ、令和７年９月に執行部への提言を提出しました。提言内容は別紙の通りです。

回答は 12 月にいただきました。

（２）地域防災力の要・消防団の活動しやすい環境づくりに向けて

上田市議会委員会条例の改正により、消防部ほかを総務委員会で所管することになったことから消防団との懇談を行いました。団本部との懇談会、分団長会との懇談会を行いました。

災害のない地域のために必要不可欠な消防団の活動を支えるために、今後も取り組んでまいります。

（３）上田市に提出した総務委員会関係の附帯意見

令和６年度一般会計決算に付した附帯意見

附帯意見	内容
財政運営について	令和６年度の決算状況を見ると今後の財政需要の増加、歳入状況の停滞、基金の取り崩しを見込んだ予算編成の常態化など財政の硬直化が顕著である。 財政の将来的な見通しが大変厳しいことを全職員の共通認識とし、全ての事業の必要性、削減可能性、収益を上げられる可能性を全庁的に精査すること。また、財政調整基金、減債基金の取り崩しを極力行わない健全な財政運営に努めること。
行財政改革推進のための組織体制の構築について	行財政改革の推進には部局横断的な取り組みが不可決である。全庁的な取り組みを集中的に行う部署を設置し、組織のあり方、事務の点検、職員数や施設規模の検証を行うこと。

（４）行政視察

視察地	時期	視察項目
兵庫県神戸市	R7.7.2	防災・減災の取組について
岡山県津山市	R7.7.3	公共施設再編（FM、PPP）の取組について
神奈川県横浜市	R7.7.4	横浜市人材成長戦略 2025 について

（５）主な懇談会

懇談団体等	時期	懇談内容
（協）長野県解体工事業協会	R7.5.14	解体工事入札選定基準の明確化
上田市消防団	R7.7.24	消防団の現状
上田市防災支援協会	R7.9.29	上田市防災支援協会の意見・要望
上田市消防団分団長会	R7.11.6	（テーマ別車座集会） 地域防災力を高めるために！消防団の未来を語ろう♪

（６）所管事務調査

対象	時期	調査内容
上田市消防部、危機管理防災課	R7.5.16	消防部ほかの所管事務

【資料・総務委員会より執行部への提言書】

令和７年　月　　日

上田市長　土屋 陽一　様

総務委員長　石合 祐太

持続可能な行財政運営に向けた公民連携の推進及び人材育成に関する提言書

総務委員会では、「公民連携の推進について」を重点課題と位置づけ、先進地視察等を通じ調査・研究を行ってきました。

このたび、これまでの調査・研究に基づき、表題に係る提言を以下のとおり集約しましたので、速やかに取り組まれることを強く要請します。

記

１提　言

人口減少や少子高齢化により財政の厳しさが増す中、限られた資源で持続可能な行政運営を実現するためには、公民連携の推進と計画的な人材育成が急務です。このことから、総務委員会として以下の事項について提言します。

（１）大規模事業の実施に係る財政の持続可能性の明確化

市が来年度以降、５年間程度（2026～2030 年）で計画する大規模な投資事業について、事業名、投資額、財源、優先順位及びその必要性を明確に示すこと。特に新たな施設整備にあたっては、建設費だけでなく、運用開始後のランニングコストも含めた財政への影響を見える化し、財政の持続可能性を市民に対して説明できるようにすること。

（２）公民連携（ＰＰＰ）に関する運用ガイドラインの策定

公民連携（ＰＰＰ）に関する運用ガイドラインの策定に当たっては、先進市における公民連携条例、公民連携事業指針、公民連携基本計画等を参考にし、上田市の実情に即した現実的かつ実効性のある仕組みとなるよう検討すること。

（３）公民連携推進体制の強化

行政管理課内に公民連携を専門に担う職員の配置を早急に検討し、庁内窓口を一本化すること。さらに、３年以内を目標に、公民連携の推進、公共施設マネジメント、財産の利活用、民間提案制度の受付・検討、指定管理施設における自主事業の支援などを総合的に担う専門部署の設置を検討すること。あわせて、指定管理者が自主事業を導入しやすくなるようなルールや支援体制の整備も、実務面の強化策として位置づけていくこと。

（4）職員の外部派遣による経営感覚の醸成

施設担当職員等を、都市経営や公民連携に関わる外部機関へ派遣することにより、経営的視点や民間との協働ノウハウを実践的に身につける機会を確保すること。また、公民連携の導入がより現実的かつ質の高いものとなるよう支援体制を強化すること。

（5）施設カルテの公共施設総合管理計画への反映

施設カルテについて、策定中の公共施設総合管理計画及び最適化方針に反映させ、個別施設の状況と市全体の施設方針が整合するよう一体的なマネジメント体制を確立すること。

（6）人材の確保・定着に向けた「人材成長戦略」の策定

先進自治体の事例を参考に、職員一人ひとりの成長機会を確保するとともに、庁内外に対して、上田市の組織に対する考え方やビジョンを明示し、人材の確保と定着を図るため、（仮称）「上田市人材成長戦略」の策定を進めること。

（7）庁内副業・庁外副業制度の導入検討

職員の視野の拡大やスキル向上、庁内連携による組織活性化を図るため、先進市の事例を参考にしながら、庁内外での副業制度の導入について具体的な検討を進めること。制度設計にあたっては、職員のやりがいや意欲を引き出し、同時に市の業務へも還元されるような仕組みとすること。

産業水道委員会活動報告

１　産業水道委員会の構成

髙田忍委員、久保田由夫委員、佐藤論征委員
飯島裕貴委員、武田紗知副委員長、半田大介委員長、松山賢太郎委員

２　産業水道委員会の主な仕事

○　商工業、農業、農地整備、森林・林業と雇用・労務政策の取組に関すること。
○　上水道、公共下水道、農業集落排水の取組に関すること。
○　文化振興、スポーツ推進、観光・シティプロモーションの取組に関すること。

３　取り組んでいる主な活動

今年度、当委員会では昨年度に続き、（１）と（２）について、最重要課題と位置づけています。（３）は新たに担当する事業として取組を始めました。

（１）上田長野地域水道事業広域化

長野市・上田市・千曲市・坂城町・長野県企業局による水道事業広域化の検討を重ねる「上田長野地域水道事業広域化協議会」が設置され、本年９月定例会において、水道事業広域化の基礎調査を進める関連予算が市議会において賛成多数で可決されたため、今年度以降、基本計画の合意と事業計画の検討が行われます。水道事業広域化は市民からも賛否の意見があることから、昨年度後半から今年度にかけて当委員会では以下の取り組みを行いました。

①上下水道局からの説明・上田長野地域水道事業広域化に関する論点整理と質疑

令和６年１０月２１日、１１月２１日、１２月１１日、１２月１７日　計４回開催

②行政視察・現地視察

視察地	時期	視察項目
長野県企業局(上田水道管理事務所)	R7.1.20	県営水道の運営状況を確認
坂城町・千曲市・長野市	R7.2.6	各自治体の水道事業の課題
広域化整備予定箇所の現地視察	R7.1.20	上田市～坂城町～千曲市
香川県広域水道企業団	R7.5.12	水道事業広域化について
国土交通省	R7.5.14	水道事業広域化について

③テーマ別車座集会

時期	内容	出席者・参加者
R6.12.17,19	個人または団体と個別に懇談	２個人１団体　計６人
R7.8.21	おいしい水を広める市民の会・上下水道局とのパネルディスカッション	５９人
R7.8.27	個人または団体と個別に懇談	３個人　計５人

④委員会　水道事業広域化関連予算審議のための参考人招致　３組

第８期上下水道審議会会長	元上下水道事業管理者	長野県企業局

（２）「(仮称）道の駅まるこ」整備事業

丸子地域・荻窪地区に建設する事業計画案が提案されましたが、今年度、高さ５ｍ程度に及ぶ盛土をめぐり、財政負担、工期、事業運営方式に課題が浮上し、市から事業計画の見直しを行うことを説明されました。今後も最重要課題として取り組みます。

（３）中学校部活動の地域展開

令和９年度に中学校部活動が地域展開することに伴い、担当が教育厚生委員会から当委員会となり、一部の事業（指導者育成研修など）の関連予算を本年９月定例会から審議することになりました。

（４）行政視察

視察地	時期	視察項目
香川県小豆島町	R7.5.13	小豆島観光ビジョンについて

（５）主な懇談会

懇談団体	時期	懇談内容
上田市防災支援協会 （総務、環境建設各委員会と合同）	R7.9.29	公共事業の課題

教育厚生委員会活動報告

１　教育厚生委員会の構成

飯島伴典委員、土屋勝浩委員
西沢逸郎委員、堀内仁志副委員長、齊藤加代美委員長、池上喜美子委員

２　教育厚生委員会の主な仕事

○　福祉、高齢者介護、障がい者支援に関すること
○　健康推進、国民健康保険、高齢者医療、保育園、幼稚園、子育てに関すること
○　武石診療所に関すること
○　小中学校教育、公民館、図書館、文化振興に関すること

３　重点的に取り組んでいる主な活動

（１）　子どもの学びの場の充実について

・上田市の令和６年度の小学生児童の不登校は過去最多（５９１名）であり、子どもを中心とした学びの場の充実が急務であることから、教育厚生委員会では、重点課題を「子どもの学びの場の充実」として調査・研究を行っています。市では、令和５年３月に「不登校児童生徒を支援する民間施設等に関するガイドライン」を策定し、長野県では令和６年４月に「信州型フリースクール認証制度」を創設しました。また、誰にでも開かれ、多様な人たちがともに学び、成長するインクルーシブでフレキシブルな学びの場「信州オープンドアスクール（仮称）」の設置に向けた県の動きを受け、市は令和６年１０月に「オープンドアスクール構想」が始動し、令和１０年度の開校を目指しています。
・教育厚生委員会は、子どもの権利と多様な学びの場の確保を目指し、調査・研究に取り組む中、多様な学びを提供する先進施設や自治体を視察し、それらを実践する礎に

は、子どもの権利条例の制定など「子どもの権利」が尊重される取組が進められていることが分かりました。今年度の車座集会は、１１月１５日（土）に「子どもの多様な学びの場」をテーマに、市民の皆さんと学びの確保策と子どもの権利について意見交換を行い、市への提言に向けて議論を深めています。

（２） 健康づくりに関する施策、事業の推進について

・「運動を通じた健康づくり」を重点課題とし、調査・研究を行う中で、食と健康・運動と健康について、意見交換をしながら課題等を把握するために、令和５年～６年に車座集会を開催しました。皆様のご意見を活かしながら、人生１００年時代をより良く生きる健康づくり条例が目指す「市民一人ひとりが生涯にわたり心身ともに健康に暮らす」の実現に向け、市への提言に繋がるよう議論を深めています。

（３） 「小中学校の学校給食の無償化を求める意見書」「訪問介護報酬の引き上げ等を求める意見書」を国へ提出しました。

〈学校給食の無償化への要望〉

栄養の確保など学校給食の質と量が損なわれることないよう学校給食の無償化を実現すること。

〈訪問介護報酬の引き上げ等の要望〉

中山間地域など地域の実態を踏まえた上で、介護報酬の改定に合わせて介護報酬の引き上げを行い、改正までの間、訪問介護事業者の経済支援を行うこと。

（４）行政視察・所管事務調査

視察先	時期	視察項目
長野県長野市 ＳａＳａＬａｎｄ（ササランド）	R7.5.21	子どもの安心できる居場所づくりと、学習や集団活動への意欲が持つ自立支援について
長野県　松本市 インクルーシブセンター	R7.5.21	全ての子どもたちがともに遊び・学ぶインクルーシブについて
兵庫県　明石市	R7.7.1	あかしフリースペース「ここのば」 あかしインクルーシブ条例について
大阪府大阪市 大阪市立心和中学校	R7.7.2	心和中学校の取組とオープンドアスクールについて
和歌山県　橋本市 きのくに子どもの村学園	R7.7.3	子どもを幸せにする多様な学びの場の在り方と運営について
所管事務調査(市内)	R7.7.18	常磐城ふれあい教室/上田市立第六中学校校内フリースクール

（５）懇談

懇談先	時期	懇談項目
上田市社会福祉協議会	R7.10.11	社協事業の状況と課題について
上田市私立保育園・ 認定こども園協会	R7.11.17	子ども・子育て支援制度等について

環境建設委員会活動報告

１　環境建設委員会の構成

宮下省二委員、尾島勝委員
古市順子委員、中村知義副委員長、井澤毅委員長、金沢広美委員

２　環境建設委員会の主な仕事

○　戸籍、マイナンバー、自治会、市民協働、地域協議会、住民自治組織、人権男女共同参画、ふるさと寄付金、結婚支援、移住に関すること
○　環境衛生、新エネルギー、ごみ処理に関すること
○　道路、水路、公園、都市計画、公共交通、空き家対策、市営住宅、上田城跡整備に関すること

３　取り組んでいる主な活動

（１）移住・定住の推進

全国的に人口減少が進む中、上田市でも移住・定住を促進し、人口減少に歯止めをかけることが課題となっています。今年度は、北海道帯広市の取組について学びました。移住や定住に加え、地域と関わりを持つ「関係人口」を増やす取り組みについても研究を進めていきます。

（２）住民自治組織について

今年度は、東京都世田谷区の「地域共生のいえづくり支援事業」を視察し、地域課題を住民が主体的に解決できる仕組みづくりについて学びました。

今後は、テーマ別車座集会において住民自治組織の役員の方々と意見交換を行い、現場の声を取り入れながら研究を深めていきます。

（３）地域新エネルギーについて

市が過半数の株式を保有する「株式会社サントエナジーうえだ」による、再生可能エネルギー関連設備を設置する事業が順次開始され、市が環境省から脱炭素先行地域に指定された事業計画、『ゼロカーボン×交通まちづくり』の取り組みが本格始動しました。委員会としてこの取り組みを注視し、課題や可能性について継続して研究していきます。

（４）公共交通について

高齢化の進展に伴い、市民からの要望が多い地域公共交通は、市政の重要課題です。路線バスを巡る運転手不足や赤字経営などの課題を解決するため、令和７年１０月から５年間の計画で「地域公共交通利便増進事業」が始まりました。今後はその進捗も含め、調査・研究を進めます。

（５）行政視察について

期日	場所	テーマ
R7.7.29	一般社団法人 世田谷トラストまちづくり （東京都世田谷区）	地域共生のいえづくり支援事業について
R7.7.30	北海道鹿追町	環境保全センターバイオガスプラント及び脱炭素社会への取組について
R7.7.31	北海道帯広市	移住定住促進の取組について

広報広聴委員会からの報告

１　広報広聴委員会の構成

古市順子委員、髙田忍委員、石合祐太委員、齊藤加代美委員
武田紗知委員、村越深典副委員長、金沢広美委員長、中村知義委員、飯島裕貴委員

２　広報広聴委員会の主な仕事

○ 市民意見や要望等を公聴・集約し、議会活動に生かすこと
（議会報告会・テーマ別車座集会の開催等）

○ 議会の活動等を広くお知らせすること（上田市議会だより年4回発行、インターネット生中継、録画配信、SNS等による情報発信、議場見学会や議会出前授業の開催等）

３重点的に取り組んでいる主な活動

市民に身近で開かれた議会を目指し、広報・広聴機能のより一層の充実を図っています。

（1） 分かりやすく読みやすい上田市議会だより

手に取って読んでいただける上田市議会だよりを目指し、表紙のデザインは各委員が担当し、紙面にイラストや図解を取り入れるなど、より分かりやすい紙面づくりに力を入れています。また、紙面に二次元コードを記載し、読み取っていただくことで各議員の質問を映像で見ることができるようにしています。今後も専門用語の解説をいれ、議会だよりに関するアンケートを参考に、より関心を持っていただける紙面づくりを目指します。

（2） 議会ポスターの作成掲示

議会に対する関心を高めるため議会傍聴促進に向けた取り組みとして、令和7年5月から議会の年間開会予定及び定例会ごとに日程をお知らせする議会ポスターを作成し、市役所本庁舎及び各地域自治センターに掲出しています。

（3） 議会報告会について

①議会活動報告動画

インターネット動画配信で、議会活動報告動画の配信を行いました。

②テーマ別車座集会

各常任委員会のそれぞれの課題に沿って、計画・実施をしています。広報広聴委員会では学生と「学生発！上田アップデート」をテーマとして意見交換を実施しました。

テーマ別車座集会で出されたご意見を政策的な議論につなげていけるよう、広報広聴委員会としても研究、検討をしていきます。

【本年度のテーマ別車座集会の実施状況】

開催日	委員会	テーマ
8月22日(火)	産業水道委員会	上田長野地域水道事業広域化
10月20日(月)	広報広聴委員会	学生発！上田アップデート
11月6日(木)	総務委員会	地域防災力を高めるために！消防団の未来を語ろう♪
11月10日(月)	環境建設委員会	地域課題について
11月15日(土)	教育厚生委員会	いつでもどこでも学べる場ってなに？

（3）議会のインターネット中継

上田市議会では、議会中継と録画配信を行っています。映像の検索項目は、「会議名でさがす」「議員名でさがす」「会派名でさがす」「用語検索」から見たい映像を検索してご覧いただけます。また、SNSを通じた情報発信についても取り組んでいます。

（4）行政視察

視察地	時期	視察項目
東京都あきる野市	R7.8.19	議会だよりについて
静岡県御殿場市	R7.8.20	未来会議プロジェクト、高校生と議会の交流について

議会運営委員会からの報告

１　議会運営委員会の構成

西沢逸郎委員、矢島昭徳委員、井澤毅委員、飯島伴典委員
泉弥生委員、飯島裕貴副委員長、松山賢太郎委員長、松尾卓委員

２　議会運営委員会の主な仕事

円滑な議会の運営を期すため、議会運営について協議し、意見調整を図る

- ○　議会の運営に関する事項
- ○　議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- ○　議長から諮問された事項の調査・検討

３　重点的に取り組んでいる主な活動

（１）政策提言を目指した政策討論会の実施

市民目線に基づいた具体的な政策提言や、議会全体の政策立案能力向上に向けた環境整備、議員間討議の活性化により各議員個々の更なる資質向上を目指して、以下３項目について、議員間での政策討論会を定期的に実施しています。

・スポーツの成長産業化に向けて

・灯るいまち上田

・議会費と議会改革

年内での各項目の意見集約に向けて実践中です。

（２）わかりやすい議会改革目標設定と現状の課題抽出の明確化

議会改革の目標や現状の課題を明確化するため、先進議会の事例を参考に議会改革の評価検証を調査・研究しています。また全国的な議会改革度調査を基に公正かつ時代に即した基準の下で、上田市議会の状況を分析・評価して改革推進の指標とします。

（３）行政視察

視察地	時期	視察項目
神奈川県秦野市	R7.10.9	・議員間討議を活用した市民参加型政策提言 ・議会改革の取り組み
埼玉県所沢市	R7.10.10	・議会改革度の大幅な推進への取り組み ・大学との連携及び政策研究審議会の役割 ・議会改革の明確な工程表作成と進捗管理

令和6年12月議会以降の請願・陳情の審査、意見書・決議の提出状況

請願

年	議会	件名	提出者	付託先	審査結果
R7	6月	訪問介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願	上小・東御地区社会保障推進協議会長　中村　和幸　氏 （紹介議員　宮下省二議員、斉藤達也議員）	教育厚生	採択
R7	9月	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の請願	上田市教職員組合 執行委員長　宮澤　裕子　氏 (紹介議員　古市順子議員)	教育厚生	継続審査
R7	9月	「再審法の早期改正」を求める意見書採択の請願	長野県弁護士会 会長　齋藤　泰史　氏 (紹介議員　土屋勝浩議員)	総務	採択

陳情

年	議会	件名	提出者	付託先	審査結果
R7	3月	持続可能な学校の実現を求める陳情	上田市教職員組合 執行委員長　宮澤　裕子　氏	教育厚生	不採択
R7	3月	「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の速やかな改正に関する陳情	滝澤　修一　氏	総務	不採択
R7	6月	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	上小地区労働組合連合 議長　藤原　栄治	産業水道	不採択
R7	9月	生徒会等役員選任において、生活困難生徒の負担軽減を求める陳情	瀧澤　史貴　氏	教育厚生	不採択

意見書

年	議会	件名
R6	12月	年収の壁の見直しに関する十分な議論と地方財政への配慮を求める意見書
R7	3月	緊急防災・減災事業債及び緊急自然災害防止対策事業債の期限延長と一層の充実を求める意見書
R7	6月	地方財政の充実・強化に関する意見書
R7	6月	小中学校の学校給食の無償化を求める意見書
R7	6月	訪問介護報酬の引き上げ等を求める意見書
R7	9月	「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の早期改正を求める意見書

MEMO

令和７年度上田市議会活動報告

掲載資料

（発行）上田市議会　（編集）広報広聴委員会

〒386-8601 上田市大手一丁目 11 番 16 号
電話 0268-22-0452　FAX 0268-23-5136
E-mail：gikai@city.ueda.nagano.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ https://www.city.ueda.nagano.jp/